

令和6年度 自己評価結果報告書

学校名

成田市立加良部小学校

1 学校教育目標

〈夢をもち 未来を拓く〉
確かな学力を身に付け 心豊かで 健康な子どもを育てる

2 本年度の重点化された具体的な目標

- (1) 思考し、判断し、表現する力を育てる学習指導の充実
- (2) 思いやりや自律心を育てる心の教育と生徒指導の充実
- (3) たくましい心身を育てる健康・安全指導の充実
- (4) 個々の実態に応じた特別支援教育の充実
- (5) 教職員の心身の健康を維持し、児童と笑顔で向き合うための働き方改革への取組

3 自己評価結果

分野・領域	評価項目	評価の指標	取組状況	改善の方策
学習指導	〈教職員〉 子どもが「わかる、できる」学習指導の充実において、学年・学級・教科等の教育活動について、それに基づいた目標を設定し、具現化を図ることができた。	よくできている 8% 大体できている 85%	A	タブレットを活用し、お互いの考えを共有したり、説明したりする授業を多く取り入れることで子どもたちの表現力を高めることができた。今後は、さらに表現することが思考の広がりと深まりにつながるような授業の工夫について、教職員の研修を通して取り組んでいく。
	〈保護者〉 学校は、子どもをよく理解し、わかりやすい授業を行っている。	あてはまる 38% ややあてはまる 51%	B	
	学校は、子ども同士の学び合いや表現力の育成をめざした指導をしている。	あてはまる 41% ややあてはまる 51%	A	
生徒指導 道徳指導	〈教職員〉 思いやりや自律心を育てる心の教育と生徒指導の充実について、学年・学級・教科等の教育活動において、それに基づいた目標を設定し、具現化を図ることができた。	よくできている 0% 大体できている 96%	A	入学当初に6年生が1年生の手伝いをしたり、なかよしタイムやクラブ活動等の異学年交流を経験したりして、子どもたちの豊かな心を育む取組に成果がみられた。今後は、スマイルカードの有効活用なども推進したい。
	〈保護者〉 お子さんは、友達を思いやったり、よいところを認め合ったりしている。	あてはまる 56% ややあてはまる 41%	A	あいさつについては、職員の取組を強化し、家庭との連携を図りながら、気持ちのよい学校の雰囲気づくりに努めたい。
	学校は、明るいあいさつができるよう指導している。	あてはまる 50% ややあてはまる 43%	A	
健康指導 安全指導	〈教職員〉 たくましい心身を育てる健康・安全指導の充実について、学年・学級・教科等の教育活動において、それに基づいた目標を設定し、具現化を図ることができた。	よくできている 4% 大体できている 89%	A	持久走の記録会や縄跳び検定等、目標をもって運動に取り組ませた。子どもたちの健康状態を適切に把握した上で、外遊びを励行していく。
	〈保護者〉 お子さんは、健康状態に気を付けたり、運動や外遊びをしたりしている。	あてはまる 45% ややあてはまる 43%	A	PTA奉仕作業にご協力いただくとともに、委託業者を活用し、学校の環境整備に一層努める。また、避難訓練の方法の工夫などにより、防災意識を高めたい。
	学校の校舎内外は整理整頓され、安全で安心して学ぶ環境づくりをしている。	あてはまる 45% ややあてはまる 51%	A	
特別支援教育	〈教職員〉 個々の実態に応じた特別支援教育の充実について、学年・学級・教科等の教育活動において、それに基づいた目標を設定し、具現化を図ることができた。	よくできている 4% 大体できている 85%	B	十分に満足できる結果とはいえない。合理的配慮の申し出などを基に、よりきめ細かな支援を図っていく。
	〈保護者〉 学校は、子どもの実態を適切に把握し、個に応じて教育活動を支援している。	あてはまる 33% ややあてはまる 55%	B	特別支援教育の充実を図るとともに、共生社会におけるインクルーシブ教育について保護者や地域への周知に努める。
保護者・地域との連携 働き方改革	〈教職員〉 教職員の心身の健康を維持し、児童と笑顔で向き合うための働き方改革への取組について、それに基づいた目標を設定し、具現化を図ることができた。	よくできている 15% 大体できている 65%	B	社会科や生活科、総合、安全指導、学校行事等との関連で、外部人材を活用したり、関係団体の協力を仰いだりして、教育活動の充実を積極的に図ってきた。今後も継続して取り組んでいく。
	〈保護者〉 学校は、地域の自然や施設、人との関わり合いを取り入れた学習を進めている。	あてはまる 40% ややあてはまる 52%	A	校務のDX化や見直しを進め、教職員がゆとりをもって子どもたちと向き合うことができるよう、一層の工夫を検討する。
	学校は、家庭・PTA・地域と連携し、地域全体で子どもを育てようとしている。	あてはまる 36% ややあてはまる 56%	A	

4 自己評価の結果の分析

○学校評価に係る保護者アンケートでは、「あてはまる」「ややあてはまる」との回答を「肯定的な回答」と捉えている。教職員による自己評価も含め、「取組状況」については、肯定的な回答の割合が90%以上の場合に「A」評価としている。

○保護者アンケートの中で、学校の取組を評価していただく11の設問すべてにおいて、肯定的な回答の割合が87%から98%の間であった。各分野における学校の取組は一定の評価をいただいたものと考えられる。

○一方で、10%を超える方から不十分だとする回答があった設問もある。特に「教育相談」「学習指導」「情報発信」の項目においては、学校として一層の工夫・改善への具体的手立てが必要である。

○保護者アンケートは昨年度からWEBによる回答方式としているが、回収率が53%とあまり高くなく、引き続き課題であると考えられる。

○「A」か「B」かという視点だけでなく、肯定的な回答ではない割合を如何に下げ、「ややあてはまる」を如何に「あてはまる」に押し上げていくか、という視点をもたなければならない。